

令和3年2月24日

九州電力株式会社

代表取締役 社長執行役員 池辺和弘 様

宮崎県延岡市長 読谷山 洋司

(公 印 省 略)

市民・国民の利益及び地方自治を侵害する貴社の行為に対する抗議

本市は、小売電力事業を行う新会社を設立し、一般家庭や中小事業者に対する低額できめ細かな料金プランにより市民生活の支援及び地域経済の再生を図るとともに、それにより生まれる会社の利益を市に寄附することで新たな市の財源を確保すべく、3年近く検討を続け、今月新会社の事業計画を作成、公表したところであり、今後必要な予算案を市議会に提案する考えです。

しかしながら、貴社は「延岡市が設立する新会社の容量拠出金の負担は多額になるので、赤字になる。」などと、根拠なく試算した拠出金額を説明して回っています。

そもそも貴社は、自社の拠出金額すら明らかにしておらず、また明らかにできる状況ではないはずにもかかわらず、設立されてもいない会社の拠出金額を根拠なく試算した上で説明して回るといって極めて不可解な行動をとっています。

小売会社設立を阻止する意図と思われるが、これは電力システム改革の大きな柱である小売全面自由化を妨害する行為であり、且つ地方自治を侵害する行為です。

その上、まだ会社設立すら行われていないため何らの基礎数値もない中、貴社は本市の新会社と営業形態が類似しているとして岡山電力株式会社（本社：岡山市）のデータを同社に無断で九州電力送配電株式会社から入手し、その供給構造を推測し、それを延岡市が設立する新会社と同様であると仮定して根拠のない拠出金額の試算を行っていますが、このデータ利用は岡山電力株式会社に何らの了解を得ることなく行われており、違法であるとともに、分社後の送配電会社から顧客データを入手するという、電力システム改革の大きな柱である「送配電部門の分離・中立性の確保」を完全に形骸化させ否定する行為です。

これらについては、既に口頭で抗議したところですが、市民・国民の利益及び地方自治を守るため、改めて本状にて厳重に抗議します。

以上